

体感型訓練の実施状況について

平成28年2月10日

東京電力

福島第一廃炉推進カンパニー

訓練の目的

- 1 F の墜落死亡災害の教訓から墜落・落下の危険性とその安全対策の重要性を認識する。
- 震災後の1 F で多く発生している事故事例からその危険性と安全対策の重要性を認識する。
- 現場の危険を確実に察知し、安全に作業を行える力量を養う。

訓練項目

現在の施設で訓練可能な項目は以下の通り。

訓練項目:

1. 落下衝撃体感（4mの高さから砂袋を落下させ衝撃を体感）
2. 安全帯衝撃体感（砂袋に安全帯を装着し，親綱と同じ位置および親綱より1m高い位置から落下させ，違いを体感）
3. 安全帯ぶら下がり体感（安全帯を付けてぶら下がりを体感）
4. 親綱緊張力体感
（適正な緊張力で張った親綱の張り具合を体感）
5. 二丁掛け体感（鉄骨の上を歩行し，二丁掛けを体感）
6. 感電体感（専用の装置を使用し，感電を体感）
7. 巻き込まれ体感（専用の装置を使用し，巻き込まれを体感）
8. 危険予知訓練（足場作業を模擬した施設の危険箇所を指摘）
9. 滑り・転倒事例紹介（1Fで発生した事故事例を紹介）
10. 切れ・こすれ事例紹介（1Fで発生した事故事例を紹介）
11. 試掘体感（埋設物の試掘を体感）
12. 作業困難性体感（全面マスクを装着し視野狭窄を体感）

訓練カリキュラム

実施している訓練のカリキュラムは以下の通り。

- 工事監理員，作業班長向け

訓練項目：前ページ1～12の項目を実施。(11,12は希望者のみ)

対象者：工事監理員，作業班長

頻度：毎週月，水曜日各2回 各回2時間

定員：各回20名

- 一般作業員向け

訓練項目：前ページ1，3，8

対象者：一般作業員

頻度：毎週火，木，金曜日各4回 各回1時間

定員：各回20名

訓練受講者数（平成27年12月末現在）

実施している訓練の受講者数は以下の通り。

- 工事監理員，作業班長向け

当社社員： 543名

協力企業： 527名

合計：1070名

- 一般作業員向け

当社社員： 2名

協力企業：3226名

合計：3228名

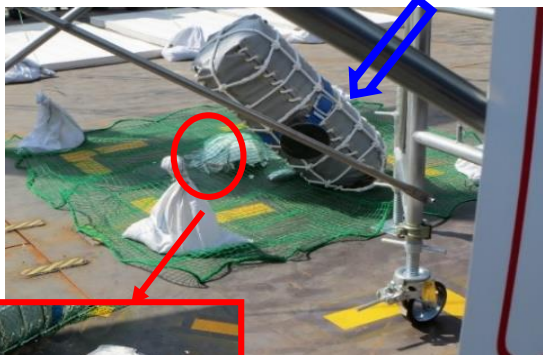
訓練施設全景



訓練風景

【落下衝撃力体感】

75kg



ヘルメットが粉々

【親綱緊張力体感】



張力計

【安全带ぶら下がり体感】



【安全带衝撃力体感】



【ダブルフック梁上歩行体感】

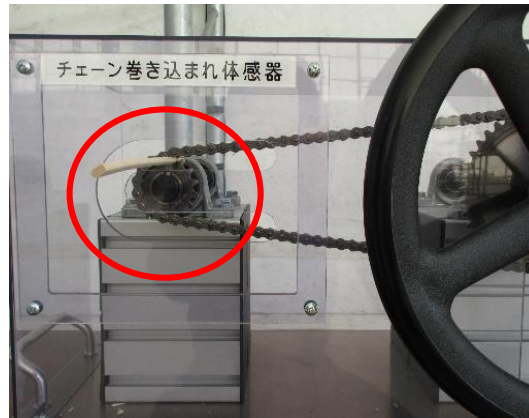


訓練施設

【 感電体感装置 】



【 巻込まれ体感装置 】



【 試掘体感施設 】



【 滑り・転倒事例紹介 】



【 切れ・こすれ事例紹介 】



訓練風景

【KYT訓練】 16個の危険箇所を見つけよう！

